

参考資料

三番瀬自然環境調査年次計画（H24～28）

項目は平成 22 年度三番瀬自然環境総合解析結果の提言をベースとして、三番瀬専門家会議で計画を承認されたものです。

○平成 22 年度以前から継続して行っている調査

調査名	調査項目	調査時期・頻度	地点数	18～22年度実績					24～28年度実施計画					備考
				18	19	20	21	22	24	25	26	27	28	
①深浅測量	水深	1～3月、1回	測線間隔50～100m			○			※					H23に震災影響調査事業（三番瀬の深浅測量）業務委託として実施
②底生生物調査	種の同定、個体数、湿重量、殻長等	四季、各1＋予備1＝5回	100地点程度	○							●			資料2-2、2頁マクロベントス調査として実施 結果は13頁から記述
③水質調査	水温、塩分、pH、溶存酸素、クロロフィルa等	四季、各1＋予備1＝5回	10地点程度	○							●			資料2-2、2頁採水調査として実施 結果は資料集1頁から記述
④底質調査	酸化還元電位、粒度組成、強熱減量等	四季、各1＋予備1＝5回	100地点程度	○							●			資料2-2、2頁底質調査として実施 結果は9頁から記述
⑤魚類着底状況調査	種の同定、個体数、湿重量、体長等	各月×1計12回	15地点		○							○		H27に三番瀬自然環境調査（稚魚生息状況調査）業務委託として実施中
⑥鳥類経年調査	種の同定、個体数等	各月×2計24回	5地点		○				○	○	●	○	○	H26の結果は資料2-1 H24 から毎年度実施中
⑦総合解析	それまでの調査結果をとりまとめ、自然環境を総合的に把握する							○					○	H28に実施予定

○平成 24 年度以降に新たに実施している調査

調査名	調査目的	調査項目	調査方法	調査時期・頻度	地点数	24～28年度実施計画案					備考
						24	25	26	27	28	
⑧深浅測量（三番瀬沖側砂洲周辺）	地形変動が激しい場所であることから詳細に変化を把握する。	水深	音響測深機	1～3月、1回	沖側の砂洲周辺を測線間隔20m以下	※					H23に震災影響調査事業（三番瀬の深浅測量）業務委託として実施
⑨水環境モニタリング（青潮・貧酸素水観測）	青潮時の貧酸素水の湧昇状況の把握	流向、流速、水温、塩分	流向流速計、水質計を固定して連続自動計測	春季～秋季	三番瀬海域 4 周辺5地点			●			資料2-2、2頁水環境モニタリング調査として実施 結果は29頁から記述
⑩底生生物調査（青潮影響調査）	青潮による底生生物及び水質の影響の把握	種の同定、個体数、湿重量、殻長等	スミスマッキングタイヤ型採泥器による底泥採集	青潮発生後1回	38地点			●			資料2-2、2頁マクロベントス調査として実施 結果は16,17頁に記述